学校番号	1207

令和　５　年度　　指導と評価の年間計画

教科	科目（講座名）	単位数	指導学年	履修の条件
芸　術	音楽Ⅱ	２	３	音楽Ⅰの履修

使用教科書	副読本等
ON!　２	New Music Note

準備物・費用等	必修／選択	全員履修	セット	自由選択	授業形態	講義	実技	実習
教材費として5000円				○				○

１．担当者からのメッセージ（学習方法等）

「歌うこと」「楽器を演奏すること」「音楽を聴くこと」の３つの分野を年間通して学習します。我が国の伝統音楽、箏の音楽を鑑賞し、体験します。アンサンブルを中心に、楽器の奏法の特徴や表現上の効果を理解し、それらを生かした表現をするために必要な技能を身に付け、主体的に演奏に取り組みます。

２．学習の到達目標

音楽の諸活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、個性豊かな表現の能力と主体的な鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める

３．学習評価（評価規準と評価方法）

観点	ａ：音楽への関心・意欲・態度	ｂ：音楽表現の創意工夫	ｃ：音楽表現の技能	ｄ：鑑賞の能力
観点の趣旨	音楽活動の喜びを味わい、音楽や音楽文化に関心をもち、主体的に音楽表現や鑑賞の学習に取り組もうとする。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、音楽表現を工夫し、表現意図をもっている。	創意工夫を生かした音楽表現をするための技能を身に付け、創造的に表している。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、解釈したり価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	観察、授業ノート	観察、授業ノート	演奏の聴取	観察、ワークシート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４．学習の活動

月	単元（題材）	学習内容	主な評価の観点 a	b	c	d	単元（題材）の評価規準	評価方法
4月 ～ 5月 中旬	詩の内容を大切にして歌おう	ハナミズキ	○	○	○		a.歌う喜びを味わい、イメージをもって歌う学習に主体的に取り組もうとしている b.音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気や特質を感受しながら、歌詞の内容と関わらせてどのように歌うか表現意図をもっている。 c.表現したいことを伝えるための歌唱の技能を身に付けている。	観察 授業ノート 演奏の聴取
	音の響きや表情を感じ取って演奏しよう	スタジオジブリ・メドレー	○		○		a.各パートの役割や音の重なりなどに関心を持ち、全体の調和を考えて演奏の学習に主体的に取り組もうとしている。 c.各パートの役割や音の重なり方などを感じ取るとともに、全体の調和を意識しながら表現するために必要な技能を身に付け、創造的に表現している。	
5月 下旬 ～ 7月	我が国の郷土の伝統音楽への理解を深めよう	箏「糸」「ハナミズキ」	○		○		a.箏の音色や奏法の特徴に関心を持ち、それらを生かして演奏する学習に主体的に取り組んでいる。 c.箏の音色や奏法の特徴を生かした技能を身に付け、創造的に表している。	観察 授業ノート 演奏の聴取
	世界の諸民族の音楽を通して音楽文化についての理解を深め、自己の音楽観を広げよう	ラテンアメリカの音楽	○			○	a.ラテン音楽の仕組み、使われる楽器の音色や奏法の特徴などに関心を持ち、楽器、歌の役割を意識しながら学習に主体的に取り組もうとしている。 d.音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながらラテン音楽の文化的、歴史的背景や演奏者による表現の特徴を理解し、そのよさや美しさを創造的に味わって聴いている。	観察 ワークシート
8月 下旬 ～ 10月 上旬	舞台音楽を楽しもう	ウエスト・サイド物語	○			○	a.ミュージカルの特徴に関心を持ち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。 d.音楽的な要素とそれ以外の要素との関わりを感じ取り、ミュージカルや映画のよさや楽しさを創造的に味わって聴いている。	観察 ワークシート
	ボディーパーカッションやリズムを創作しよう	クラッピング サウンド	○		○		a.アンサンブルに関心を持ち、その持ち味を生かして演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 c.リズム譜を読譜し、表現したいことを伝えるための技能を身に付けている。	観察 授業ノート 演奏の聴取
10月 中旬 ～ 12月	西洋音楽の歴史を理解するとともに鑑賞の力を高めよう	レクイエム	○			○	a.作曲家の生涯や楽曲の文化的、歴史的背景に関心を持ち、意欲的に鑑賞の学習に取り組もうとしている。 d.音楽を形作っている要素の働きとその表現効果、作曲家及び演奏者による表現の特徴を理解し、楽曲のよさや美しさを味わって聴くとともに感じ取ったことを話し合ったり発表したりしている。	観察 ワークシート
	ポピュラーソングを歌おう	道 水平線 虹	○	○	○		a.曲想と歌詞が表す情景や心情との関わりに関心を持ち、イメージを持って歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 b.曲想と歌詞が表す情景や心情との関わりを理解し、どのように歌うかについて表現意図を持っている。 c.表現したいことを伝えるための歌唱の技能を身に付けている。	観察 授業ノート 演奏の聴取

1月 ～ 2月	いろんな国の歌曲を歌おう	フニクリ・フニクラ	○	○	○		a.曲想と文化的、歴史的背景との関わりに関心を持ち、歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 b.旋律、リズム、速度など音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受し、曲種に応じた発声の特徴を生かした表現を工夫し、どのように歌うかについて表現意図を持っている。 c.表現したいことを伝えるための歌唱の技能を身に付けている。	観察 授業ノート 演奏の聴取
	コーラスやヴォーカルアンサンブルで美しい響きを追求しよう	ソー・マッチ・イン・ラブ	○	○	○		a.曲想と文化的、歴史的背景との関わりに関心を持ち、合唱をする学習に主体的に取り組もうとしている。 b.旋律、ハーモニーを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受し、どのように歌うかについて表現意図を持っている。 c.曲想を歌詞の内容や楽曲の背景と関わらせて感じ取り、イメージを持ってアンサンブルをするために必要な歌唱の技能（発声、言葉の発音、呼吸法、姿勢や身体の使い方）を身に付け、協力し合い創造的に表している。	